

- 問1 地球温暖化の進行や資源の枯渇といった課題に対応するため、国際社会で共有されている、現在の世代が自らのニーズを満たしつつ、将来の世代が幸福を享受できる能力を損なわないように配慮した社会のあり方を何とといいますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 持続可能な社会                      2. 高度経済成長社会                      3. 国際協調型福祉社会                      4. 大量消費主導社会
- 問2 世界の年平均気温の推移と将来予測に関するデータによると、気温の上昇に伴い海面水位も上昇し続けており、2100年には1900年比で最大0.84m上昇すると予測されています。この海面水位の上昇によって発生すると考えられる深刻な影響として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 海水の蒸発が抑制されることで、世界各地で深刻な干ばつや水不足が発生する。                      2. 海中の二酸化炭素濃度が低下し、サンゴ礁やプランクトンが異常増殖する。                      3. 北極や南極の氷床が厚くなることで、世界の海流が完全に停止する。                      4. 標高の低い島国や沿岸地域において、国土が浸水したり水没したりする危険性が高まる。
- 問3 2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」において、その根幹となる「持続可能な開発」という考え方を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 人間中心の開発を優先し、環境への影響は将来の科学技術の進歩によって解決することを前提に経済発展を加速させること。                      2. 2030年を目標期限とし、温室効果ガスの排出を伴うあらゆる工業製品の生産を世界規模で停止すること。                      3. 将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現代の世代の要求も満たしながら、環境保護と開発を両立させること。                      4. 先進国が高度な経済成長を維持するために、発展途上国の資源利用を制限して地球全体の資源量を保つこと。
- 問4 持続可能な社会の実現を目指す上で、その背景にある考え方として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 将来の世代が受けるべき利益や自然環境を損なわないよう、現代の資源利用や環境負荷を調整しようとする考え方。                      2. 大量生産・大量消費・大量廃棄の仕組みを維持し、現在の豊かな生活を最大限に享受しようとする考え方。                      3. 特定の国々が情報を独占し、情報の格差を広げることで国際的な競争力を高めようとする考え方。                      4. 経済効率を最優先し、短期間で資源を使い切ることで急激な経済成長を達成しようとする考え方。
- 問5 開発途上国の経済的自立を目指すための国際的な経済活動について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 年齢や国籍、障害の有無に関わらず、すべての人が利用しやすいように製品や施設の設計を工夫する。                      2. 先進国の消費者が製品を適正な価格で継続的に購入することで、開発途上国の生産者の生活向上を支援する。                      3. 情報の真偽を正しく判断し、大量の情報のなかから必要な情報を選択して活用する能力を向上させる。                      4. 輸入制限や高い関税をかけることで自国の産業を保護し、開発途上国からの安価な製品流入を阻止する。
- 問6 2030年を期限とする17の目標（SDGs）が、それ以前の国際目標であるミレニアム開発目標（MDGs）と比較して大きく異なる点として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 環境保護のみを唯一の目的とし、経済成長を止めて自然環境を回復させることに特化した点                      2. 国家間の合意ではなく、民間のボランティア団体のみが実施の責任を持つ仕組みになった点                      3. 目標の数を2030までに達成可能な数として、以前の半分以下の項目に絞り込んだ点                      4. 発展途上国における貧困削減だけでなく、先進国を含むすべての国が取り組むべき普遍的な目標となった点
- 問7 地球環境問題に対する国際的な取り組みのうち、京都議定書の内容に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 湿地の保全と賢明な利用を促進するため、水鳥の生息地となる湿地を指定することを定めた。                      2. 先進国に対して、温室効果ガスの排出削減について数値目標を伴う義務を課した。                      3. 絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引を規制し、生態系を保護することを定めた。                      4. 発展途上国を含むすべての加盟国が、自主的に削減目標を決定して対策を行うことを定めた。
- 問8 環境負荷を減らすための取り組みのうち、プラスチック製のストローの使用を控えることで「廃棄物の発生そのものを抑制する」ことと、使用済みのペットボトルを分別回収して「新たな製品の原料として再利用する」ことを指す用語の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 前者がリデュース、後者がリユース                      2. 前者がリデュース、後者がリサイクル                      3. 前者がリユース、後者がリデュース                      4. 前者がリサイクル、後者がリユース
- 問9 「環境への負荷」を指標として、自動車、バス、鉄道の3つの輸送手段を、1人を1km運ぶ際の二酸化炭素排出量が「多い順（負荷が高い順）」に並べたものとして正しいものはどれですか。なお、それぞれの排出量は、自動車が約147g、バスが約56g、鉄道が約22gであるものとします。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. バス > 自動車 > 鉄道                      2. 自動車 > バス > 鉄道                      3. 鉄道 > バス > 自動車                      4. 自動車 > 鉄道 > バス
- 問10 1997年に採択された京都議定書と、2015年に採択されたパリ協定の違いについて説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 京都議定書では二酸化炭素の排出量を増やすことが認められたが、パリ協定ではじめて先進国に対して厳しい削減義務が課されることになった。                      2. 京都議定書では開発途上国のみに削減目標の策定が求められたが、パリ協定では先進国が資金援助を行うことだけが決定した。                      3. 京都議定書では先進国のみに温室効果ガスの削減が義務付けられたが、パリ協定では途上国を含むすべての国が削減目標を定めて取り組むことになった。                      4. 京都議定書ではすべての加盟国に一律の削減義務が課されたが、パリ協定では先進国のみが削減目標を達成すればよいことになった。
- 問11 日本におけるごみの総排出量の推移を1990年から2014年まで示した統計において、2000年以降に見られる顕著な傾向と、その主な要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. リサイクル関連法の整備や国民の環境意識の向上により、2000年をピークに総排出量は減少傾向にある。                      2. 産業構造の変化によって製造業が活性化したため、2000年を境にごみの総排出量は一貫して増加傾向にある。                      3. 人口の増加に伴って家庭ごみの量が増えたため、2000年以降も一貫してごみの総排出量は右肩上がりで推移している。                      4. 最新の焼却施設の建設が進んだため、2000年以降は年度ごとに増減を繰り返しながら、全体としては横ばいで推移している。
- 問12 現代社会において、地球環境を守りつつ、将来の世代が必要とする資源や環境を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たしながらより良い生活を次世代へ引き継いでいこうとする社会のあり方を何とといいますか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 高度経済成長社会                      2. 格差社会                      3. 情報化社会                      4. 持続可能な社会